

# 号外

## 校訓 自主・誇り・思いやり

挨拶の励行・正しい服装容儀・時間の厳守

2025.10.16



修学旅行まで一か月、心の準備はできていますか？

先日行われた「沖縄平和学習」では、沖縄での戦争の当時の状況やその背景について学びました。皆さんが「話を聞いて感じたこと」の一部を紹介します。

- ・ こんな悲しい過去は二度と繰り返さないようにしなければいけない。
- ・ その場にいたら自分はどのような選択をするのだろうかと思った。
- ・ 死を選んでも戦うことを選んでも幸せがくることはないんだと思った。
- ・ もっと知りたくなつたし、同じ日本人・人間として知っておかなくてはいけないことがたくさんあるなと感じさせられた。
- ・ 私が Peace speaker になれるかは自信を持ってませんが、少なくともこの事実を忘れずに、平和がどれだけ大切で尊ぶべきものかを胸を張って言えるようにしていきたいです。
- ・ 沖縄に行ったら、現地の人をしっかりと聞き、理解を深め、自分の子供にも受け継いでいきたい。
- ・ たくさんの犠牲があったから今の日本があると思うと、今自分がこうやって幸せに平和に生きていられることに感謝して過ごさないといけないなと思った。
- ・ 戦争は何も生まないし絶対にしてはいけない。散っていった方々に敬意を払いたい。自分にできることは何か探したい。
- ・ 沖縄は今は観光地になっているけど、昔は沖縄戦争があって平和じゃなかった。沖縄の戦争は本土決戦までの時間稼ぎにされていて、一般住民の死者が多かった。国内では、捕虜になるなら死ぬべきと教えられ、自殺する人が多かった。若い人も戦争に送られた。こんなことは今ではありえないから辛さは分からないけど、他人事としてとらえてはいけないし忘れずにいたいと思う。沖縄へは、戦争で犠牲になった人だけじゃなくて、今も戦争している国にいる人の平和を願って、愛を持って行きたい。沖縄で当時の人の思いを知りたいと思う。
- ・ 修学旅行で平和学習の時間をなくしてもっと遊びたいと思っていただけ、ちゃんと沖縄でこの沖縄戦のことを学びたいと思った。簡単な軽い気持ちで沖縄に行くことのないようにしたい。民泊とかもあって県民の人と関わることがあるから、適当な発言をして沖縄の人を傷つけないようにしたい。
- ・ 修学旅行に行く際、軽い気持ちで行きたくないなと感じた。今の平和を維持するために自分には何ができるのかをよく考えたい。また、教科書で習ったことで終わらず、詳しく知り、絶対に忘れてはいけないことなので、後世にどんなことがあったのかを伝えていくことが大切だと感じた。
- ・ 自分の無知でその地の人たちを傷つけてしまわないよう、沖縄に行く前に調べてから行きたいです。



- ・ 今自分たちが学校で勉強できたり、遊んだり、おいしいご飯を安心して食べられている現状がどれほど恵まれているかを再認識することができた。
- ・ 今をもっと大事に過ごしていきたい。
- ・ ただ楽しむだけでなく、当時の戦争に遭った人々の思いを考えながら過ごしたい。
- ・ 自分の国のことだけでなく、世界の平和を願える人になりたい。
- ・ 亡くなった命一つ一つを大事に思って沖縄でも学びたい。
- ・ 絶対に忘れてはいけないことだと感じた。
- ・ 教科書に書いてあることだけじゃ分からないこともたくさんあった。知れてよかった。

- ・ 自分たちに明日があるのは当たり前じゃないということが分かったし、今日の話聞いて、今を生きる自分たちにはこの過去を知り、伝えていく義務があると感じた。
- ・ 今の私の当たり前の日常は、当時の人の計り知れないほどの犠牲があって成り立っていると感じた。当時の人が伝えられなかった思いを伝えていきたい。
- ・ これからは今まで以上に家族や友達を大切にしていきたいし、今平和に暮らすことができていることに感謝したいです。
- ・ 今平和なことに感謝して、自分にとって充実した人生になるようにしていきたい。
- ・ 戦争などなければ今私たちが行っているように趣味に夢中になったり夢を追いかけたりできるのに、夢や希望、そして当たり前の生活も全て奪った戦争が憎いと思った。今でもウクライナをはじめとした様々な土地で戦争、紛争が行われている。戦争の悲惨さを後世に繋げていけるように、沖縄に行ったときの平和学習でもっと詳しいことを知りたいと思った。また、このように日々当たり前の生活ができていることに感謝し、一日一日を大切にしたいと思う。そして、精一杯今の人生を楽しみたい。
- ・ 沖縄で戦争を経験した人たちの計り知れない恐怖や苦しい思いを私たちはどうすることもできないけど、このような出来事を未来に語り継ぎ、今の日本が平和であることや身近に感じられる小さな幸せを改めて実感することができます。これから平和な世の中を創る、継続するためにできることを沖縄で学びたいと思います。世界中の人々が生きていく中で苦しい思いをしないように、すべきことを学べるようにします。
- ・ 私は沖縄のバンド「HY」が好きで、このバンドの曲にメンバーの祖父母の話から作られた曲があります。この曲を聞くといつも頭の隅に戦争がちらつきます。この曲を聞いて思うのは、語り継がれていくことの大切さや尊さです。暗い話も明るい話も、後世に語り継ぐ必要があると私は感じます。私たちが知らない当時を知るには、語り継いで残していくしかないのだと思います。その語り継ぐということに貢献できるよう、この修学旅行で、戦争の話も含め、実際に見て聞いて感じたことを忘れないように書き留めたいです。より深く知ろうという探究心を持って沖縄に行きたいと思います。
- ・ 当時の戦争を知らないからと「過去のこと」として捉えるのではなく、どういうものだったか知ろうとすることが大切なんじゃないかと思った。普段から自分にできることを考えることが平和への思いにつながるのかなと思った。
- ・ 歴史の授業で、戦争のことや当時の出来事を学びますが、どうしても用語を覚えるのに必死で当時の背景や住民の方々の思いに目を向けることがなかったです。しかし戦争があるということは、人が大勢亡くなっていて、その分辛い思いをする人がたくさんいるということなんだと実感しました。今は身近で戦争は起きていなくて平和に暮らせているけど、先人たちのおかげで今があること、また他の国では今も戦争が続いていて悲惨なことが起きていることを忘れずにしたいです。日本だけでなく他の国も平和になるには、日本が今後も戦争のない国であるには何ができるのかを、沖縄へ行って学びます。
- ・ これから平和に幸せに暮らしていくはずだった人々の思いを考えると本当に無念だったろうなと感じたし、今の自分の生活も当たり前のことのように当たり前ではないんだと分かった。
- ・ 怖いから見たくない、気持ち悪いから見たくない、とかじゃなくて、実際にあったことを自分で調べて見るべきだと思う。今自分は毎日学校に来れることは当たり前だと思っているけど、戦時中の子たちは行きたくても行けなかったって考えると自分は幸せだなんて思います。戦争があったって過去は変わらないから、私たちがこれからの未来を全力で守るべき。今でも戦争をしているところがあるなんて信じられないです。一日でも早く終わるといいです。
- ・ 私のひいおじいちゃんも第2次世界大戦に行ったし、ひいおばあちゃんの弟も戦争で亡くなりました。自分の近くに戦争を経験した人がいるんだと実感しました。他人事だと思ったらいけないと感じました。
- ・ 今回の授業を受けて私が感じたことは、戦争の辛さと次の世代の人たちにも受け継いでいくことの大切さです。話を聞くことで、当時の沖縄の状況について知ることができました。自分が思っていた何倍も悲惨な状況に置かれていたことを知りました。なぜ死者が多かったのか、私たちと同じ年代の人はどうしていたのかなど、友達と共有して考えることができました。実際に沖縄に行って聞くことで、知らないことを学べる大切な機会になると思います。今日学んだことを頭に入れて、戦争について詳しく学んで来ます。

～「感じたこと」、「心を動かされたこと」を忘れずに、いざ、沖縄の地へ～



